

第6回定例研究会

「書を通して伝える『褻』」

第6回定例研究会の講師には、書家の俵越山先生をお招きし、「書を通して伝える『褻』」というテーマで講演いただきました。俵越山先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1961年京都市生まれ。関西大学社会学部マスコミュニケーション学科卒。元タレントの越前屋俵太。平成10年書家 榊 莫山師から、「書は自己開放の手段であるからにして、好きに書きなさい」という教えを受け、好き勝手に書く事を決意する。その結果、日本中の職人さんを尋ね、そこで感じた事を即興で書くという独自の「心感一筆」スタイルを確立し、関西テレビを中心に全国のTV局で放送され、好評を得た。最近は特別養護老人施設などへ赴き、入居者の前で筆耕した作品を寄贈する活動を始めた。主な筆耕活動にJリーグガンバ大阪スローガン「挑戦」など多数。

講師

俵 越山 氏（書家）

テーマ

書を通して伝える「褻」

講演日

2008年2月16日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要